

# 令和4年度

## 千葉県クリーニング師試験 筆記試験問題用紙

【指示があるまで開いてはいけません】

(注意事項)

- 1 問題の解答は別に配付している答案用紙にマークしてください。
- 2 答案用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
- 3 試験は1時間で、問題の数は40問（解答数40）です。
- 4 各問題には A～D までの4つの選択肢がありますので、正解と思うものを1つ選び、答案用紙にマークしてください。マークは、鉛筆またはシャープペンシルで答案用紙のマーク記入例にならって、枠内を濃くはっきり塗りつぶしてください。解答をまちがえた時は、消しゴムで完全に消してから、新たにマークし直してください。  
正解は、1問につき1つしかないので、2つ以上マークしないでください。2つ以上マークした場合、その解答は無効になります。

【例】 問題用紙 3 日本の本州にある都府県として、正しいものは下の  
A～Dのうちどれか。

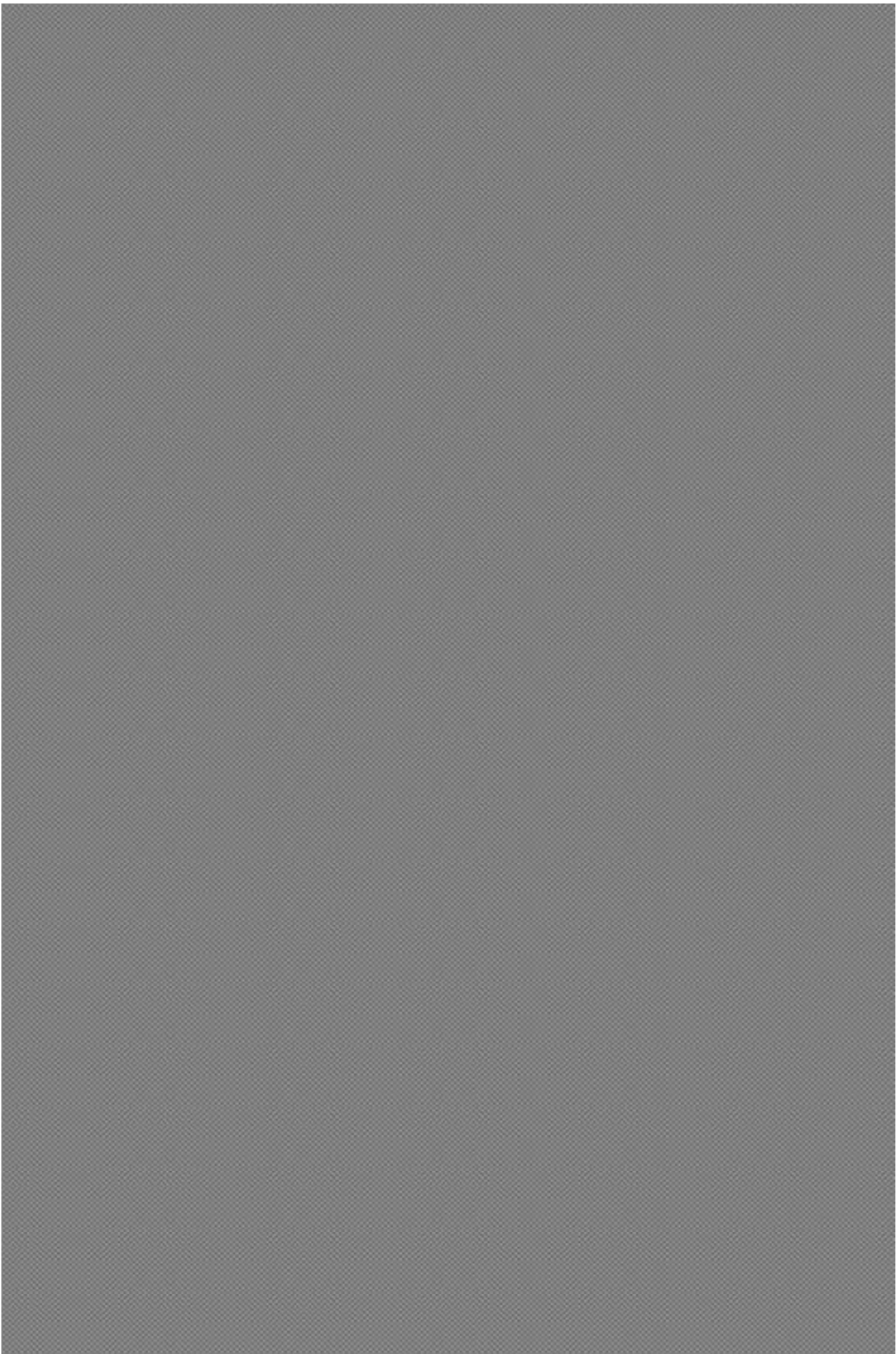
ア 福岡  
イ 愛知  
ウ 大阪

A (アとイ)    B (イとウ)    C (イのみ)    D (ウのみ)

正解は B ですので、答案用紙の B 列のマークを鉛筆等ではっきりぬりつぶしてください。

答案用紙 3       

- 5 試験終了時、答案用紙を回収します。この問題用紙は、持ち帰ることができます。



## 衛生法規に関する知識

1 クリーニング業法の目的について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行う。
- イ クリーニング業の経営を公共の福祉に適合させる。
- ウ クリーニング師の社会的地位を向上させる。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (アのみ)

2 クリーニング所について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 洗濯物の処理又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。
- イ クリーニング所以外の場所でも、営業者の所有する施設であれば、営業として洗濯物の処理を行うことができる。
- ウ クリーニング所を開設しようとする者は、必要な事項をあらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (アのみ)

3 営業者の衛生措置について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておかなければならない。
- イ クリーニング所に洗濯機及び脱水機をそれぞれ複数備えなければならない。
- ウ クリーニング所の業務用車両は、使用後は必ず毎回消毒を行わなければならない。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (イのみ)

4 利用者に対する説明義務等について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。
- イ 洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、利用者に対し、苦情の申出先を明示しなければならない。
- ウ 洗濯物の受取をするに際しては、利用者との間で、破損等した場合の補償金額について取り決めておかなければならない。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (イのみ)

5 クリーニング師の設置について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア 洗濯物の処理を行うクリーニング所ごとに、2人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- イ 営業者がクリーニング師である場合は、洗濯物の処理を行う複数のクリーニング所を、クリーニング師を置かずに営業することができる。
- ウ 洗濯物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所には、クリーニング師を置かなくてもよい。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (ウのみ)

6 営業者の届出について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング所を開設した者は、開設後30日以内に必要な事項を都道府県知事に届け出なければならない。
- イ クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業とする場合には、都道府県知事への届出は不要である。
- ウ クリーニング所を廃止したときは、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (ウのみ)

7 クリーニング所を開設する際に届出が必要な事項について、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング所の営業時間
- イ クリーニング所の構造及び設備の概要
- ウ クリーニング所における洗濯物の取扱量

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (アのみ)

8 クリーニング師の研修について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従い指定した研修を受けなければならない。
- イ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、クリーニング師の資質の向上を図るための研修を受けるものとする。
- ウ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後3年以内に研修を受けるものとする。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (ウのみ)

9 伝染性の疾病の病原体による汚染の恐れがあるものとして厚生労働省令で定める洗濯物について、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- ア ホテル、旅館で使用された寝具その他これに類するもの
- イ おむつ、パンツその他これらに類するもの
- ウ 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (アのみ)

10 クリーニング師の免許について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- ア クリーニング師試験に合格した者は、クリーニング所を開設しようとする所在地の都道府県知事に対し、免許の申請を行わなければならない。
- イ クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許を付与した都道府県知事に免許証の訂正の申請をしなければならない。
- ウ クリーニング師免許証を破り、汚し、又は失ったときは、1か月以内に再交付の申請をしなければならない。

A (アとイ)    B (アとウ)    C (イとウ)    D (イのみ)

## 公衆衛生に関する知識

1 1 インフルエンザについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛などの全身症状が現れる。
- B 子供やお年寄りなどは、重症になることもある。
- C 従事者の家族が発症した場合は、当人に症状がなくても仕事を休まなければならない。
- D 空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、感染しやすくなる。

1 2 結核について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 結核患者の状況は、毎年行われる結核発生動向調査をもとにとりまとめられている。
- B 予防接種は、生後2歳になるまでに直接BCG接種を行う。
- C 結核の医療に対しては、公費負担の制度が設けられており、一般患者に対するものと、入院患者に対するものがある。
- D 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で、2類感染症に指定されている。



1 3 病原体と感染症の組合せで正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 細菌 — コレラ
- B ウイルス — 百日咳
- C スピロヘータ — オウム病
- D クラミジア — アメーバ赤痢

1 4 感染症と病原体の侵入経路の組合せで、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 日本脳炎 — 呼吸器系
- B パラチフス — 消化器系
- C 破傷風 — 昆虫刺傷による皮膚
- D ジフテリア — 傷口または健康な皮膚

1 5 クリーニング所における消毒方法について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 蒸気による消毒は、100℃以上の蒸気に10分間以上触れさせる。
- B 熱水による消毒は、80℃以上の熱湯（熱水）に10分間以上浸す。
- C 塩素系消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉など）による消毒は、遊離残留塩素250mg/L以上の濃度にて30℃以上で5分間以上浸す。
- D 殺菌効果のある界面活性剤（逆性石けん液、両面界面活性剤など）による消毒は、適正希釈水溶液中に20℃以上で10分間以上浸す。

16 テトラクロロエチレンについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 特定化学物質障害予防規則により、「特別有機溶剤」として規制されている。
- B 特定化学物質障害予防規則により、作業記録の作成や、記録等の10年間保存等の義務がある。
- C テトラクロロエチレンを常時取り扱う労働者に対し、6か月以内ごとに1回、特定化学物質健康診断を実施しなければならない。
- D 皮膚腐食性・刺激性、眼に対する重篤な損傷・眼刺激性がある。

17 腸管出血性大腸菌について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 腸管出血性大腸菌感染症は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で、2類感染症に指定されている。
- B 毒力の強いベロ毒素を出し、溶血性尿毒症症候群（HUS）等の合併症を引き起こすことがある。
- C 腸管出血性大腸菌に感染すると頻回の水様便、激しい腹痛、著しい血便等の症状を起こす。
- D 代表的なものとして、「O157」が知られているが、そのほかに「O26」や「O111」等がある。

18 黄色ブドウ球菌について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 黄色ブドウ球菌は、人を取り巻く環境中に広く分布し、人の鼻腔、咽頭、腸管等にも生息する。
- B 黄色ブドウ球菌が食品中で産生したエンテロトキシンを摂取することで、食中毒が起こる。
- C 黄色ブドウ球菌が食品中で産生したエンテロトキシンは熱に弱く、通常の加熱調理で活性を失う。
- D 黄色ブドウ球菌による食中毒では、吐き気、嘔吐、下痢等の症状がみられる。

19 水質汚濁防止法について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。





- A 水質汚濁防止法による排水規制の対象は政令で定める特定施設を設置する工場又は事業場から公共用水域に排出される水である。
- B 「洗濯業の用に供する洗浄施設」は、政令で定める特定施設となっている。
- C テトラクロロエチレンは、水質汚濁防止法が指定する有害物質として規制措置が設けられている。
- D ランドリー排水の排出基準は、1日の排水量100m<sup>3</sup>未満の施設には適用されない。

20 大気汚染防止法について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 低濃度であれば、健康影響が生ずるおそれのある物質であっても、有害大気汚染物質とはしていない。
- B 工場、事業場から発生するばい煙やVOC（揮発性有機化合物）などの排出等を規制している。
- C 有害大気汚染物質のうち特に人の健康に係る被害を防止するため、指定物質が定められている。
- D テトラクロロエチレンに係る指定物質排出施設・指定物質抑制基準が定められている。

## 洗たく物の処理に関する知識

2 1 繊維製品の取り扱いに関する表示記号とその意味について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A  液温は40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。
- B  塩素系漂白剤のみで漂白処理ができる。
- C  ぬれつり干し乾燥がよい。
- D  石油系溶剤（蒸留温度150℃～210℃、引火点38℃～）でのドライクリーニング処理ができる。  
通常の処理

2 2 繊維の特徴について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 綿は、植物性繊維で、丈夫で吸湿・吸水性があり、耐洗濯性が良い。
- B 絹は、動物性繊維で、しなやかさと吸湿性に優れる一方、紫外線による変色が生じやすい。
- C レーヨン（レーヨン）は、半合成繊維で、染色性、吸湿性が良く、乾燥状態より湿潤状態で強度が増す。
- D ポリウレタンは、合成繊維で、ゴムのような伸縮性を持ち、他の繊維と混用してストレッチ素材として用いられる。

23 顔料の捺染（プリント）について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 顔料を水に溶かしてプリントし、熱固着させたものである。
- B 繊維の種類とは関係ないが、布地表面の形状により適不適がある。
- C 摩擦に対する染色堅ろう度が高い。
- D テトラクロロエチレンによるドライクリーニングでは溶脱しない。

24 ポリエステルボタンの特性について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 金属メッキ加工がしやすい樹脂で、耐久性に優れ扱いやすいが漂白剤の使用はできない。
- B 牛乳が原料の樹脂で作られ、湿潤堅ろう度は低く染色品は移染しやすい。
- C 耐薬品性、耐熱性は比較的高く丈夫だが、衝撃で割れやすい。シャツ類に最も多く使用されている。
- D 割れにくく耐摩耗性はあるが、耐熱性は高くないのでアイロンは直接当てない。

25 繊維素材の収縮について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 緩和収縮は、布地の製造過程で受けた歪みが、物理力により元の状態に戻ろうとするために生じる。合成繊維に顕著な現象。
- B フェルト化収縮は、水分や熱、物理力により繊維表面のスケール（うろこ）が絡み合うことで生じる。毛繊維特有の現象。
- C 膨潤緻密化収縮は、繊維が吸水すると布地の構造が変化するために生じる。綿、レーヨンに顕著な現象。
- D 熱収縮は、高温処理によって繊維の分子構造が変化するために生じる。合成繊維に顕著な現象。

26 ランドリー用水に必要な条件について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 無色透明、無味無臭、無菌であること。
- B 鉄やマンガンが含まれていないこと。
- C 液性はアルカリ性であること。
- D 軟水、もしくは軟水に近い水であること。

27 界面活性剤の働きについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 一分子中に親水基と親油基を持つ。
- B 油性汚れを水中に微粒子状に分散し、乳化または可溶化する。
- C 界面張力を低下させる働きがある。
- D 界面活性剤は、イオン性で分類すると、アニオン系とノニオン系の2種類に分けられる。

28 ドライクリーニングの再汚染について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 洗浄過程で汚れが溶剤中に分散している時には、再汚染は生じない。
- B ドライクリーニング溶剤は、反復して使用するため、浄化方法が不適切であると再汚染することが多い。
- C ドライクリーニング用洗剤には、再汚染防止効果はない。
- D 静電気により繊維表面に吸着した汚れは、ただちにドライクリーニング溶剤ですすげば除去できる。



29 特殊品のクリーニングについて述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 絹和服は、石油系溶剤で短時間処理をする。
- B 毛皮製品は、専用洗剤と加脂剤を用いてドライクリーニング溶剤で洗浄する。
- C カーペットは、おがくずやコーンパウダーに専用の洗剤や艶出し剤、帯電防止剤を含ませてタンブルし、汚れをパウダーに吸着させて洗う。
- D 皮革製品には、濡らすことが不可能な品等に対して洗剤を泡立てポリッシャー（回転ブラシ）で擦り、汚れた泡を吸い取る洗浄方法がある。

30 洗濯物を受け取る際のカウンター業務について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A クリーニング業法により、顧客に洗濯物の処理方法を説明するよう努めなければならない。
- B 預かり証は、顧客が求めなければ発行する必要はない。
- C 顧客と一緒に、シミや汚れの箇所、破損や変退色の有無、付属品の数量や状態などを確認する。
- D 素材や加工自体の特性上、クリーニング処理によって変化が予想される場合は、あらかじめ顧客に伝えておく。

洗たく物の処理に関する技能（I）

3 1 絹繊維を顕微鏡で観察した場合の形状について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 繊維の方向に数本の線条が走っており、断面はギザギザ状の凹凸がたくさんある。
- B 扁平なりボン状でよじれており、断面はそら豆形、馬てい形など不規則で中空部分もある。
- C 表面はなめらかで変化が見られないが、断面は丸みのある三角形に近い形をしている。
- D 繊維の方向に線条が走っており所々に節がある。断面は多角形で中空部分がある。

3 2 シミの分類に関する組み合わせのうち、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- |   |     |    |        |
|---|-----|----|--------|
| A | 血液  | —— | 水溶性のシミ |
| B | 墨   | —— | 水溶性のシミ |
| C | 泥汚れ | —— | 不溶性のシミ |
| D | ペンキ | —— | 油性のシミ  |

3 3 成分が不明なシミに対するシミ抜き方法について述べた文であるが、最初に行うシミ抜き作業として正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A タンニン系シミ抜き剤をつけてブラシで軽くたたいてタンニン成分を除去する。
- B サビ取り剤をつけて微量の金属成分を除去して水ですすぐ。
- C たんぱく系シミ抜き剤をつけてブラシで軽くたたいてたんぱく質成分を除去する。
- D 油性のシミ抜き剤または、石油系溶剤をつけてブラシで軽くたたいてシミの油性成分を除去する。

3 4 繊維と使用できる漂白剤の組み合わせのうち、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- |        |    |            |
|--------|----|------------|
| A 毛    | —— | 過酸化水素      |
| B 絹    | —— | ヒドロサルファイト  |
| C 綿    | —— | 次亜塩素酸ナトリウム |
| D ナイロン | —— | 過炭酸ナトリウム   |

35 ウェットクリーニングについて述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A ウェットクリーニングは、素材へのダメージを抑えることを優先するため、一般に洗浄性が低い。
- B 水溶性汚れはドライクリーニングの5～25%程度しか除去できない。
- C 不溶性汚れは、除去できない場合が多い。
- D MA値とは、ウェットクリーニングなどで参考にされている、洗濯機械力指標の一つである。

36 ランドリー処理前の洗濯物の分類について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A ワイシャツは、綿100%とアクリル混紡品に分ける。
- B 同じ種類の洗濯物であっても白物と色物に分け、さらに淡色と濃色に分ける。
- C 洗濯物は、洗濯機に入れる前にワイシャツ、シーツなどの品名別に分ける。
- D 最適なランドリー処理を行うため、洗濯物の分類は不可欠である。

37 クリーニングにおけるはっ水加工について述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 洗濯物に洗剤が残留しないように良くすすいでから、シリコン系やフッ素系の薬剤で加工する。
- B 加工剤には、主にカチオン系界面活性剤が用いられる。
- C チオグリコール酸アンモニウムなどを作用させることで、毛製品に対し加工する。
- D パラジクロロベンゼンやナフタリンなど忌避効果がある薬剤で加工する。

38 ドライクリーニング品の仕上げについて述べた文であるが、正しいものは下のA～Dのうちどれか。

- A 仕上げに最適な蒸気圧は、 $0.3 \text{ Mpa}$  ( $3 \text{ kgf/cm}^2$ ) である。
- B ウールプレス機の下ごてからの蒸気は、洗濯物を膨らませる効果があり、柔らかく仕上がる。
- C 「仕上げの3条件」とは、湿気と熱と時間である。
- D ウールプレス機の上ごてを下したまま、上ごて蒸気を噴出しバキュームすることで、縫い目の押し跡（アタリ）が防止できる。

39 クリーニング所の火災事故防止について述べた文であるが、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

- A 洗浄前に洗濯物のポケット内のゴミを取り除き、ライターなどの忘れ物の確認をする。
- B 乾燥機のリントフィルターの清掃は、1日1回以上行う。
- C 乾燥後は、洗濯物が完全に放熱するまで乾燥機内に留めておく。
- D 石油系ドライクリーニング処理を行う洗濯物には、引火点の低い溶剤で前処理は行わない。

40 繊維素材に対応するJISのアイロン処理のための表示記号の組み合わせとして、誤っているものは下のA～Dのうちどれか。

A ポリエステル



B 絹

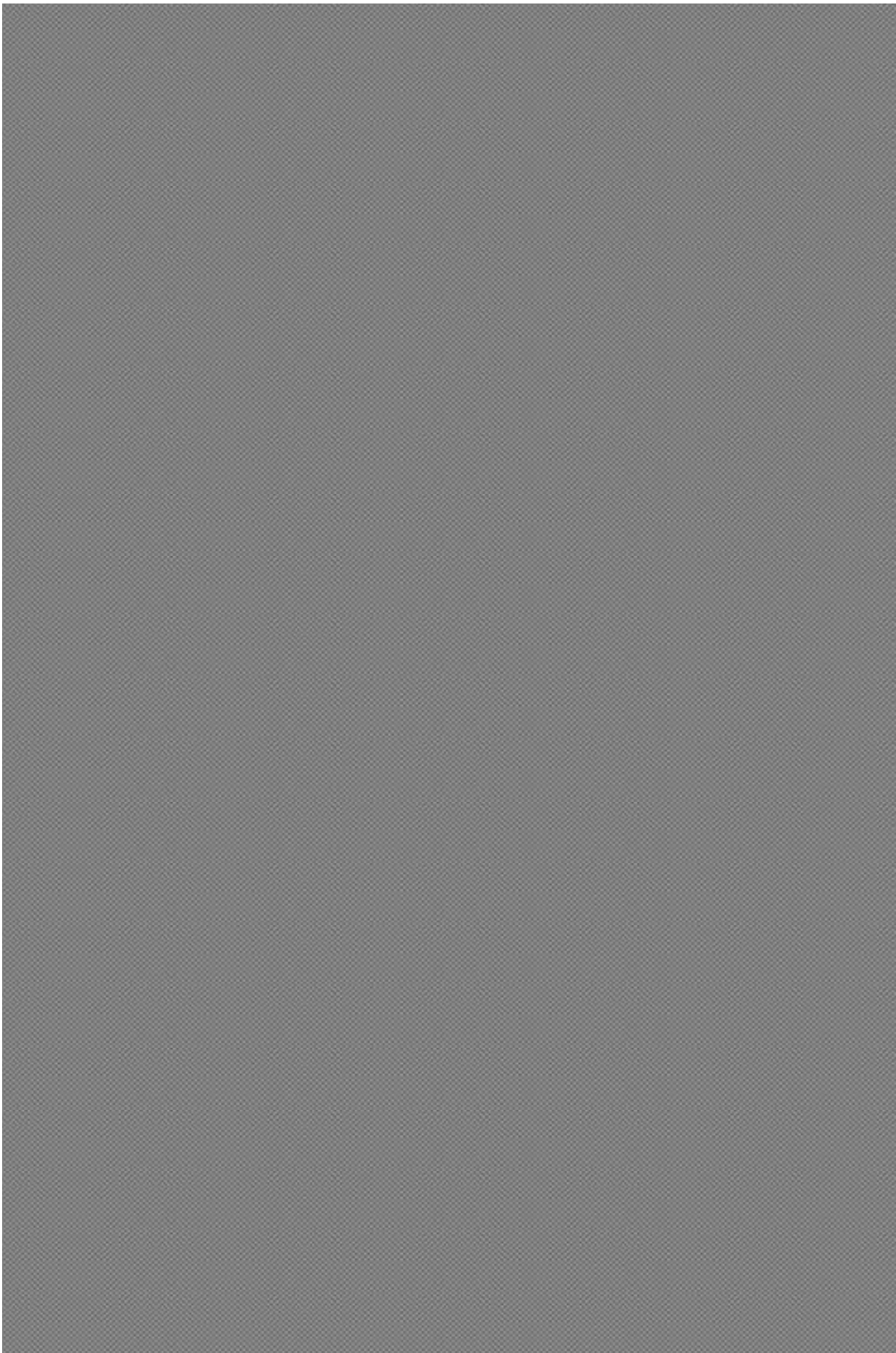


C アクリル



D レーヨン





# 令和4年度

## 千葉県クリーニング師試験 実技試験問題用紙

【指示があるまで開いてはいけません】

### (注意事項)

1 問題の解答は別に配付している答案用紙にマークしてください。マークは答案用紙のマーク記入例にならって、枠内を鉛筆またはシャープペンシルで濃くはっきり塗りつぶしてください。解答をまちがえた時は、消しゴムで完全に消してから、新たにマークし直してください。

正解は、1つの繊維及びシミにつき1つしかないので、2つ以上マークしないでください。2つ以上マークした場合、その解答は無効になります。

2 答案用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。  
厚紙表紙の右下の受験番号欄に受験番号を記入してください。

3 試験は10分間で、問題の数は2問（解答数10）です。

### 4 繊維の鑑別についての注意点

- (1) 問題用紙とは別に繊維を貼付した厚紙①があります。繊維1～5に対して、正解と思う繊維名を「繊維の種類」ア～カから選び、答案用紙にマークしてください。
- (2) 繊維は外観や手ざわりから鑑別し、燃やしたり、折り曲げたり、切ったりしないでください。

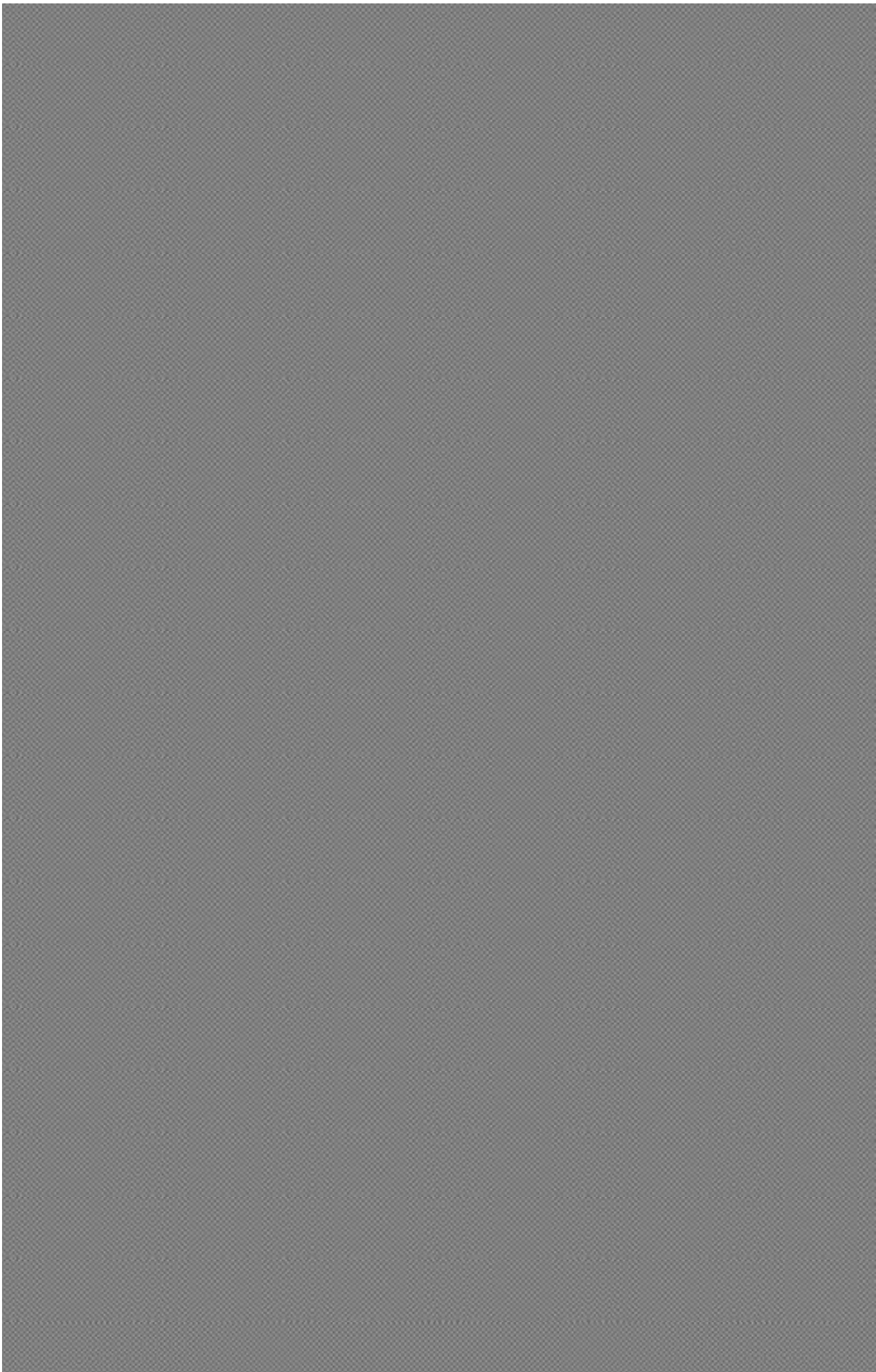
### 5 シミの鑑別についての注意点

- (1) 問題用紙とは別にシミをつけた白色布を貼付した厚紙②があります。シミI～Vに対して、正解と思うシミ名を「シミの種類」ア～クから選び、答案用紙にマークしてください。また、それぞれのシミを落とすのに最も適した薬品を「シミ抜き薬品」A～Cから選び、答案用紙にマークしてください。
- (2) シミは外観や手ざわりから鑑別してください。
- (3) マーク記入例：シミの種類が「オ」、シミ抜き薬品が「C」の場合

シミの種類	<input type="radio"/> ア	<input type="radio"/> イ	<input type="radio"/> ウ	<input type="radio"/> エ	<input checked="" type="radio"/> オ	<input type="radio"/> カ	<input type="radio"/> キ	<input type="radio"/> ク
シミ抜き薬品	<input type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input checked="" type="radio"/> C					

6 試験終了時、答案用紙及び厚紙①②を回収します。この問題用紙は、持ち帰ることができます。





問1 (繊維の鑑別)

厚紙①に貼付してある1～5の繊維を外観や手ざわりから鑑別して、下記「繊維の種類」(ア～カ)の中から該当するものを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

なお、同じ記号を複数の解答欄にマークした場合は、その記号がマークされた解答は全て無効とします。

【繊維の種類】

ア：麻

イ：綿

ウ：絹

エ：レーヨン

オ：ポリエステル

カ：アクリル

## 問2 (シミの鑑別)

厚紙②に貼付してあるⅠ～Ⅴのシミを外観や手ざわりから鑑別して、下記「シミの種類」(ア～ク)の中から該当するシミを1つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

また、それぞれのシミについて、シミ抜き処理に最も適する薬品を下記「シミ抜き薬品」(A～C)の中から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

なお、「シミの種類」(ア～ク)について同じ記号を複数の解答欄に記入した場合は、その記号が書かれた解答は全て無効とします。

### 【シミの種類】

ア：赤ワイン

イ：油性マジック

ウ：鉄サビ

エ：墨汁

オ：コーヒー

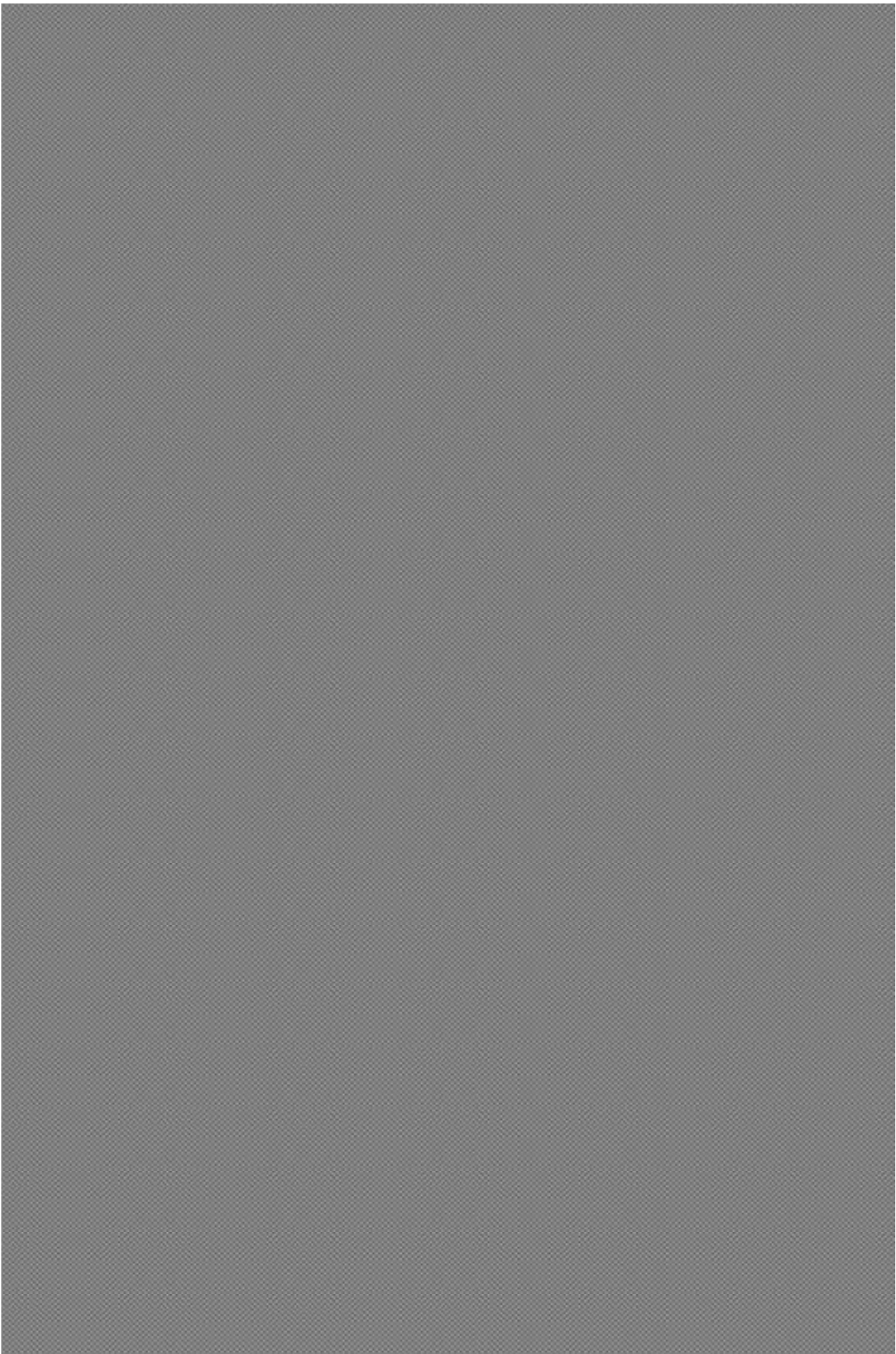
カ：油性ボールペン

キ：口紅

ク：機械油

### 【シミ抜き薬品】

シミⅠ	A：石油系溶剤 B：中性洗剤 C：過炭酸ナトリウム
シミⅡ	A：シンナー B：タンニン系シミ抜き剤 C：タンパク質分解酵素
シミⅢ	A：石油系溶剤 B：しゅう酸 C：シンナー
シミⅣ	A：たんぱく系シミ抜き剤 B：シンナー C：タンニン系シミ抜き剤
シミⅤ	A：石油系溶剤 B：アセトン C：タンニン系シミ抜き剤



令和4年度千葉県クリーニング師試験 解答

- 筆記による出題は40問（解答数40）、実技は繊維とシミをそれぞれ5種類ずつ鑑別する。

衛生法規に関する知識		公衆衛生に関する知識		洗たく物の処理に関する知識	
1	A	11	C	21	B
2	B	12	B	22	C
3	C	13	A	23	B
4	A	14	B	24	C
5	D	15	D	25	A
6	A	16	B	26	C
7	B	17	A	27	D
8	D	18	C	28	B
9	D	19	D	29	A
10	C	20	A	30	B

洗たく物の処理に関する技能 (I)		繊維の鑑別		シミの鑑別・シミ抜き薬品		
31	C	1	綿 (イ)	I	油性ボールペン (カ)	A
32	B	2	アクリル (カ)	II	墨汁 (エ)	C
33	D	3	ポリエステル (オ)	III	鉄サビ (ウ)	B
34	D	4	麻 (ア)	IV	赤ワイン (ア)	C
35	B	5	絹 (ウ)	V	コーヒー (オ)	C
36	A	×	レーヨン (エ)	×	油性マジック (イ)	×
37	A			×	口紅 (キ)	×
38	B			×	機械油 (ク)	×
39	C					
40	D					